



ホテルを通じて魅力ある むらづくりを目指しています！

さかもと けんいち
坂本 賢一さん(吹田)

今回は、吹田区を挙げてホテル祭り活動に取り組んでいる吹田区の坂本賢一さんに話を聞きました。

この活動を通して感じたことは？
町外からもたくさんさんの家族連れでにぎわい、「来年もまた来ます！」という言葉を聞くと、やって良かったと感じました。ロウソクや灯ろうのバッテリー代などの出費に苦労しましたが、あくまでも「主役はホテル！」なので、今後もずっと続けていきたいと思っています。

区のことをもっと教えてください。
現在、吹田区は世帯数が年々減少し、若い者が都会に出て、少子高齢化が進んでいます。このホテル活動を通して、知恵と汗を出しあえば、連帯感と交流の中から、区への愛着心(すつと)「吹田」を大事にしていこう！という意識が高まり、世代を越えた信頼関係が築かれて、過疎化解消にもつながるだろうと期待しています。それと「ホテルの里・吹田」のPRにもなりますね。

お仕事は何をしていますか？
私は農業(畜産と製茶)を営む一方で、町の農業委員や行政区嘱託員をやっています。会議や研修などがある時は、仕事を伴いに任せることがよくあります。長年連れ添っています。家事は任せきりですから、感謝の気持ちでいっぱい。旅行の話があればできる限り助けています。これからつれづれ笑顔の笑顔を大切にしながらやっていきたいですね。

最後にこれからの抱負を聞かせてください。
先月、吹田区で平和橋の架け替え工事が完成し、区で開通式を行いました。次々とするような問題が出ましたが、みんなで協力した結果開通式は、大成功に終わりました。一人ひとりが「自分たちでやろうじゃないか！」という考えが生まれ、頼もしかったですね。これからも、地の利を活かし、質素で華美にならない区の活動を続けていかなければ、魅力あるむらづくりができればと考えています。



ホテル祭りでは、「来年はこうしよう ああしつ」という声があがっていました。この連帯感と吹田区への愛情があれば、来年の祭りも楽しみです。



病後児保育施設 「ひだまり」

困ったなあ、子どもが病気なのに忙しい…。そんなときには。

7月に入って、これから夏本番！どんどん暑くなってきました。

けれど季節の変わり目には、子どもは病気にかかりやすいもの…。病気になったときにはお父さん、お母さんがそばにいて子どもも安心できますね。たまにはお仕事を休んで、しっかり看病したいですよ。それでも、子どもの病気が治りかけたら、お仕事に行かなければなりません。だけどやっぱりまだ学校に行かせるのは心配…。そんなときは、「ひだまり」があります。

▼利用の流れ

1 **事前に登録**
(子育て支援センター)

病気になった子どもは、不安になります。まずはお父さん、お母さんが看病してくださいね

子どもが病気のとくに、仕事を休んでいるのは、お母さんだけ？ お父さん、今が子育てのチャンスですよ！大好きな子どものために、お母さんもお父さんも子育てしてくださいね。

2 **子どもが病気になった！**

利用の前に、必ず病院で診察を受けてください。

3 **子どもの病気が治りかけたら…
利用依頼(「ひだまり」へ電話)**

症状、投薬などの問診と、一日の過ごし方、帰りの時間などの打ち合わせをします。

4 **症状にあわせて保育をします。**

保健師・看護師・保育士が連携して子どもをお預かりします。

5 **帰宅** 利用料金をお支払いください。

- 対象 生後3ヵ月からおおむね10歳までの児童
- 利用時間 (月～金)午前8時～午後6時
(土) 午前8時～午後1時
- 利用料金

	保育園・幼稚園などの入所児	未就園児・小学生
町内に住んでいる人	1,000円	2,000円
町外(大津町に通勤している人)	2,000円	

※5時間未満のお預かりは上記料金の半額

**お父さん！
子どもと汗を流してみませんか？**

7月20日(日)にお父さんと子どもだけで体操をする「パパピクス」を開催します。この機会に子どもとたくさんふれあってカッコいいパパを目指しましょう！

- 申込期限 7月10日(木)
- 申し込み・問い合わせ 子育て支援センター ☎(294)9511

「ひだまり」の問い合わせ

子育て支援センター
(町老人福祉センター内)
☎(294)9511